

phase.2 立体作品展

Lay out

構成・テキスト 藤田 貴大

写真 井上 佐由紀

映像 召田 実子

声 長谷川 洋子

2021.7.3 (土) - 7.25 (日) 13:00-18:00

※会期中の金・土・日・祝日のみオープン

会場 多異夢ホール

(福島県いわき市平字二町目33-1 ワタナベ時計店3F)

鑑賞無料(予約不要)

お問合せ：アリオスチケットセンター 0246-22-5800

(10:00~20:00 毎週火曜定休) ※おかけ間違いにご注意ください

いわきアリオスWEBサイト <https://iwaki-alios.jp>

主催：いわき芸術文化交流館アリオス

企画協力：合同会社マームとジブシー

助成：一般財団法人地域創造

文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

上演を 展示する

プロジェクト

立体作品展

立体物、写真、映像、そしてテキストにより
構成した展示から“演劇的な時間と空間”を再現する
演劇団体・マームとジプシーによる新作展

『上演を展示するプロジェクト』第2弾作品<phase.2/Lay out>では、
2021年2月の平面作品展<phase.1/Floor plan>で見つめたワーク
ショップ参加者の「部屋のまどろり」からさらに視点を絞り、「それぞれの部
屋」と「そこで営まれる日常の時間」に焦点を当てます。
ワークショップ参加者の記憶の中の風景をもとに再現された部屋に流れる
時間を、写真の中に断片として切り取り、そこに演劇作家・藤田貴大が
言葉を与えることによって、展示作品を演劇的に構成した立体作品展。

phase.2

Lay out

『上演を展示するプロジェクト』では「同じ空間・時間集まる」ことが難しくなった2020年か
ら、従来とは異なる方法で製作・発表することによって、演劇上演の可能性を模索しています。
独自の世界を表現する演劇団体・マームとジプシーとともに、公募により集まった参加者との
ワークショップを通して、現代社会で営まれる人々の日常と向き合いながら、言葉・身体・空
間や時間などといった、演劇を構成する様々な要素を解体し、あらためて見つめ直していく作
業を2020年12月から行ってきました。
2021年2月に平面作品展<phase.1/Floor plan>を発表。phase.2と位置づける本展覧会を経
て、2021年11月末に<phase.3/演劇作品>の上演を行う予定です。



いわきアリオス
WEBサイトで
詳細をご覧
いただけます

藤田 貴大

マームとジプシー主宰、演劇作家。1985年、北海道伊達市出
身。2007年マームとジプシーを旗揚げ。以降全作品の作・演
出を担当する。作品を象徴するシーンを幾度も繰り返す“リフレイン”の手
法で注目を集める。2012年、第56回岸田國士戯曲賞を受賞。以降、様々な
分野の作家との共作を積極的に行うと同時に、演劇経験を問わず様々な年
代との創作にも意欲的に取り組む。2016年、第23回読売演劇大賞優秀演出
家賞受賞。演劇作品以外でもエッセイや小説、共作漫画の発表など活動は
多岐に渡る。

マームとジプシー

藤田貴大が全作品の脚本と演出を務める演劇団体とし
て2007年設立。作品の特性に応じて、キャストとスタ
ッフをキャスティングし、創作を行っている。2012年よりオリジナルの演
劇作品と並行して、他ジャンルの作家との共作を発表。演劇界のみならず
様々なジャンルの作家や観客より注目を受けている。

今後のプロジェクト

<phase.3/演劇作品>

日程：2021年11月26日（金）～28日（日）

会場：いわき芸術文化交流館アリオス 大リハーサル室

ドキュメント 演劇を記録する

『上演を展示するプロジェクト』のプロセスを
記録したドキュメントを販売中です。
右のQRコードからお申込みいただけます。



テキスト：橋本倫史（ライター）

デザイン：名久井直子（ブックデザイナー）

【会 場】多異夢ホール

（福島県いわき市平字二町目33-1 ワタナベ時計店3F）

J R常磐線「いわき駅」南口より徒歩5分

※会場専用の駐車場はございません。お車でお越しの際は、近隣の有料駐車場を
ご利用ください

新型コロナウイルス感染症の流行に伴うご利用の際のお願い

- 感染拡大防止策にご協力ください
 - ・マスクの着用
 - ・こまめな手洗い、手指消毒
 - ・人との間隔をある程度とる
- 以下の方はご来場をお控えください
 - ・発熱、呼吸器症状（せき、くしゃみ等）がある方
 - ・2週間以内に感染拡大地域や国への訪問歴がある方、
またはその濃厚接触者

